

II 指定野菜価格安定対策事業に関する業務

1 制度の改正

(1) 業務対象年間の短縮

全ての業務区分について業務対象年間を短縮し、平成 17 年度を初年度とする新たな業務対象年間を設定し、改めて価格差補給交付金等の交付に関する予約申込みを受けて事業を実施した。

(2) 新たな業務区分の設定

冬レタスについて本年度から「結球」と「非結球」に区分し、新たにそれぞれ業務区分を設定した。

2 交付予約及び資金の造成

(1) 交付予約数量

ア 交付予約数量

17 年度事業に係る交付予約数量は、業務区分別に前年度と比較すると、増加した数量が 8 万 1 千トン、減少した数量が 5 万 2 千トン、差し引き 2 万 9 千トン増加して 274 万 7 千トンとなった。

イ 種別（対象出荷期間）別の交付予約数量

種別別の交付予約数量の多いものをみると、たまねぎ（即売）（8～4 月）、夏秋キャベツ（7～10 月）、冬キャベツ（1～3 月）等となっている（図 3）。また、前年度に比較して増加した主な種別は、たまねぎ（即売）（8～翌 4 月）（増加率 12.3%）、秋にんじん（8～10 月）（同 14.6%）、冬春トマト（ミニ）（5～6 月）（増加率 23.4%）等で、減少した種別はたまねぎ（7～10 月）（減少率 13.2%）、冬キャベツ（1～3 月）（同 3.1%）、夏秋キャベツ（7～10 月）（減少率 1.1%）等が主なものである。

ウ 登録出荷団体等別の交付予約数量

17 年度事業に係る登録出荷団体別の交付予約数量をみると、数量の多い団体は①たまねぎ等の主産地であるホクレンの 521 千トン、②夏秋レタス、夏はくさい、夏秋キャベツの主産地である全農長野県本部の 244 千トン、③冬にんじん、冬キャベツ、春キャベツ等の主産地である全農千葉県本部の 205 千トン、④冬キャベツ等の主産地である愛知県経済連の 147 千トン、⑤たまねぎ、秋冬はくさい等の主産地である全農兵庫県本部の 143 千トンの順となっており、この 5 団体で全体の 45.9%を占めている（図 4）。また、前年度に対する伸び率をみると、北海道青果商協 17.5%と最も大きく、次いでホクレン 9.9%、全農富山県本部 4.3%、全農青森県本部 3.9%と続き、登録生産者でみると、大石農産 150.0%、北幸農園 62.8%が高い伸び率となっている。

(2) 資金造成額

ア 資金造成額

(ア) 17年度事業に係る資金造成総額は1,077億円で、前年度に比べ18億円、1.7%増加した。

(イ) 資金造成については、昭和54年度から平成13年度までは国の直接補助の2分の1を限度として国庫債務負担行為による造成が行われていたが、平成14年度には国の直接補助の3分の2を限度として国庫債務負担行為による造成が行われた。さらに、平成15年度からは国から道府県への間接補助がなくなったことから、直接補助の2分の1を限度として国庫債務負担行為による造成となった。また、昭和55年度からは道府県の補助（国の間接補助分を除く）の4分の1を限度として道府県の債務負担行為による造成が導入された。なお、平成17年度の資金造成額を現金分と債務負担行為分とに区分してみると、現金による造成が732億7,130万円で、全体の68.0%を占めており、残りは国庫債務負担行為（332億8,708万円、30.9%）、道府県債務負担行為（（北海道、青森県、福島県、長野県及び熊本県）11億3,474万円で1.1%）となっている（表2）。

表2 造成区分の資金造成額 (単位：千円、%)

内 訳		16 年 度		17 年 度	
		金 額	構成比	金 額	構成比
資 金 造 成 額		105,866,123	100.0	107,693,127	100.0
内 訳	うち、現金	72,084,426	68.1	73,271,302	68.0
	国庫債務負担行為	32,757,592	31.0	33,287,081	30.9
	県債務負担行為	1,024,105	0.9	1,134,744	1.1

イ 種別（対象出荷期間）別の資金造成額

種別別に資金造成額の大きいものをみると、最も大きいものはたまねぎ（即売）（8～翌4月）58億円、冬レタス（12～翌2月）48億円、夏秋トマト（7～9月）43億円となっており、次いで冬春きゅうり（11/21～2月）41億円、夏秋キャベツ（7～10）40億円の順となっている（図5）。また、前年度に比べ伸び率の大きいものは秋冬ねぎ（青）（10～12月）38.1%、夏秋トマト（ミニ）（10～11月）25.0%、夏秋トマト（ミニ）（7～9月）21.2%、冬春トマト（ミニ）（5～6月）19.6%、秋冬ねぎ（青）（1～3月）15.6%となっている。

ウ 登録出荷団体等別の資金造成額

登録出荷団体別の資金造成額の大きい主な団体は、①たまねぎ等の主産地であるホクレンの91億円、②春キャベツ、冬キャベツ、冬にんじん等の主産地である全農千葉県本部が83億円、③夏秋キャベツ、夏はくさい及び夏秋レタスの主産地である全農長野県本部が73億円、④夏秋トマト、冬春トマト等の主産地熊本県経済連が63億円、⑤たまねぎ、冬レタス等の主産地である全農兵庫県本部が59億円となっている（図6）。

図3 種別（対象出荷期間）別の交付予約数量

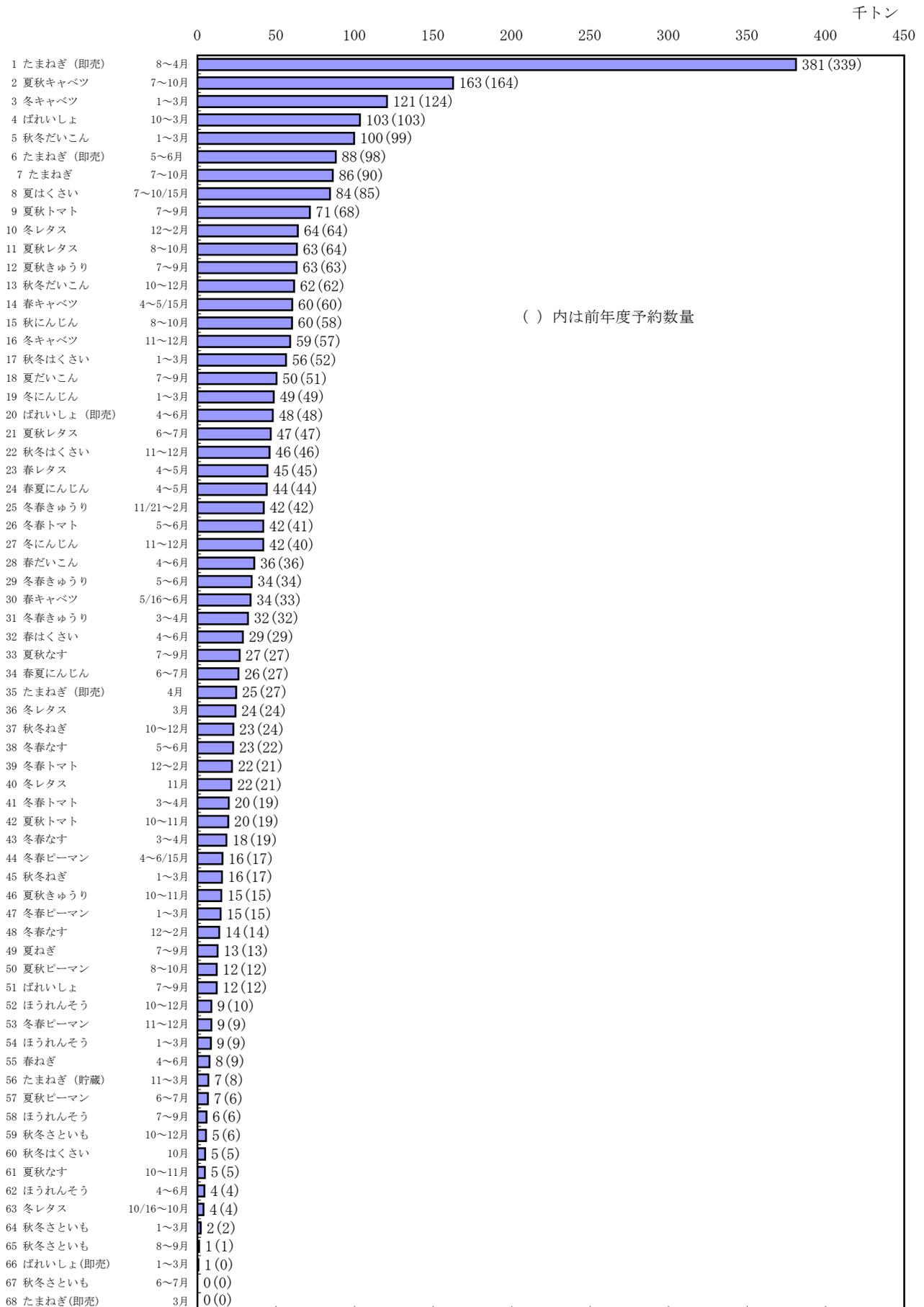


図4 登録出荷団体別の交付予約数量

千トン

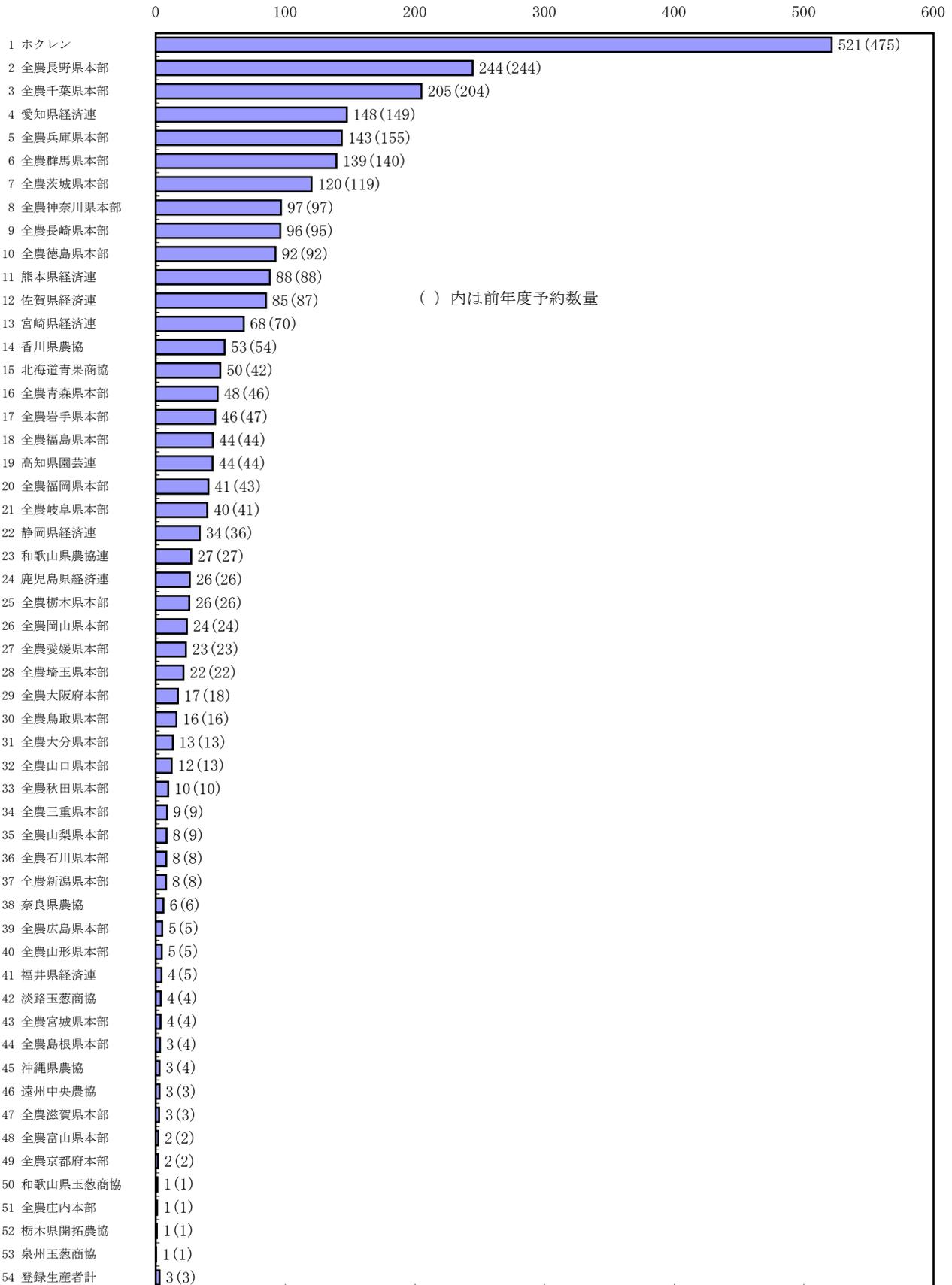


図5 種別（対象出荷期間）別の資金造成額

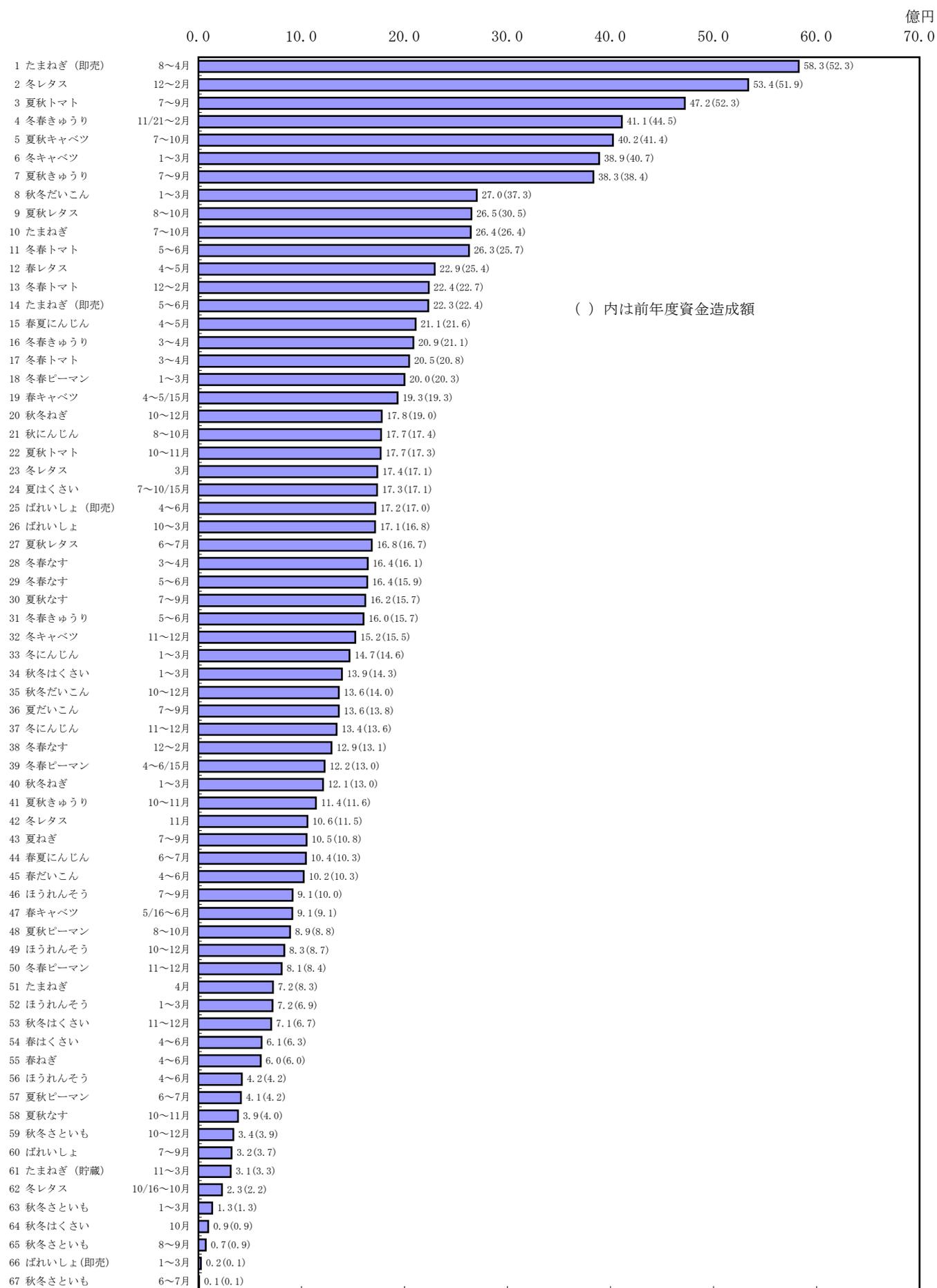
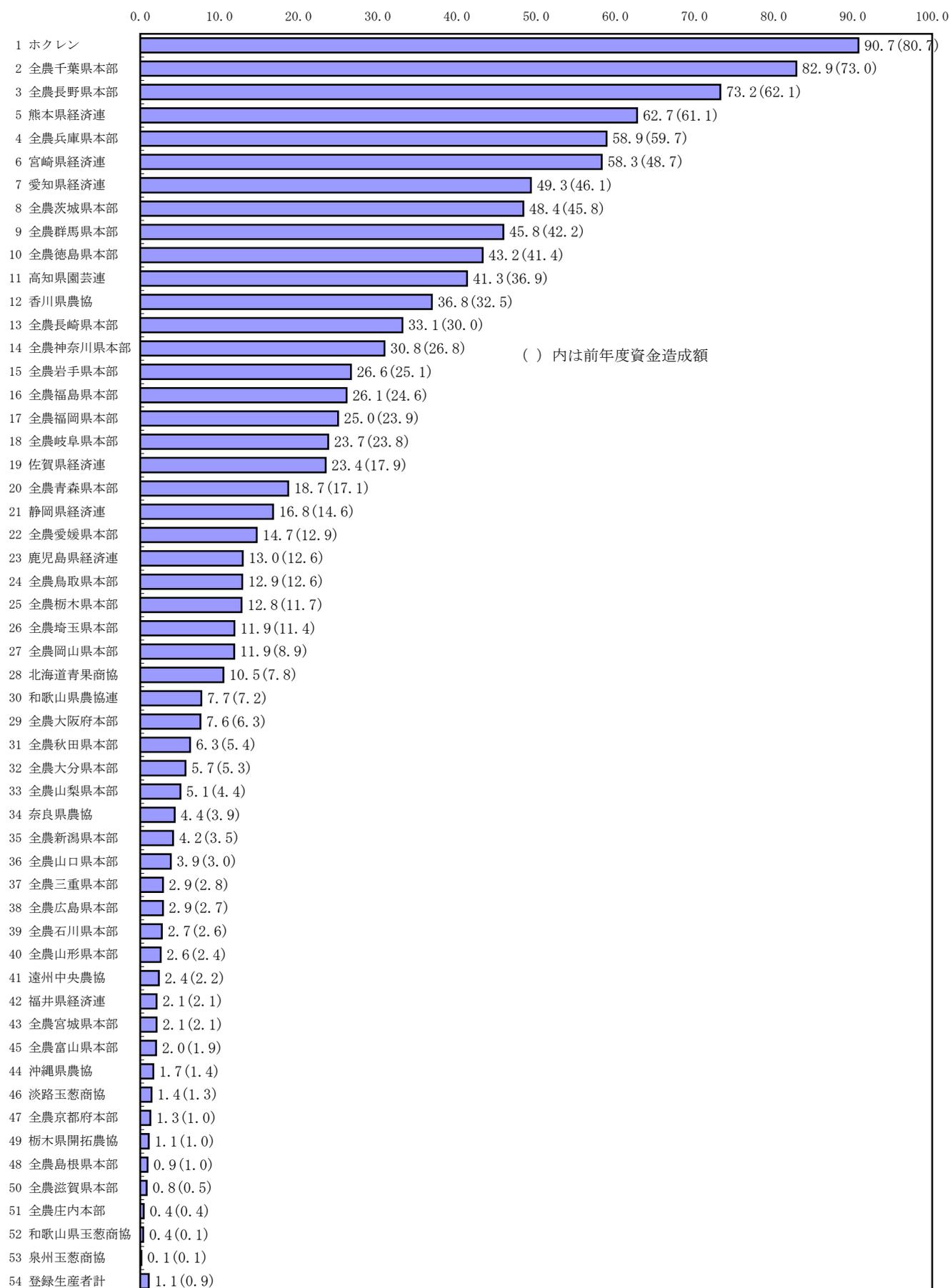


図6 登録出荷団体別の資金造成額

億円



3 価格差補給交付金等の交付

(1) 平均販売価額等の算定

価格差補給交付金等の交付の基礎となる出荷数量、平均販売価額、交付金単価等の算定は、17年度中に対象出荷期間が始まった対象野菜について、業務区分ごと、旬又は月（さといも、たまねぎ及びばれいしょ）ごとに延べ4,785旬・月について行った。これに用いた17年度の仕切データ件数は257万件であり、このうち99.9%がベジフルネット端末を通じた収集となった。

このうち、平均販売価額が保証基準額を下回って価格差補給交付金等の交付が行われたものは延べ1,688旬・月で全体の35.3%（前年度は延べ1,214旬・月で同25.9%）であった。

さらに、平均販売価額が最低基準額をも下回ったものは、延べ163旬・月で全体の3.5%（前年度は延べ72旬・月で同1.5%）であった（表3）。

(2) 価格差補給交付金等の交付額

ア 価格差補給交付金等交付総額

(ア) 17年度事業における価格差補給交付金等の交付総額は、203億3千万円（うち一般補給交付金等201億7千万円、特別補給交付金等1億6千万円）で、資金造成額に対する交付額の比率（交付率）は18.9%であった。

なお、昭和51～平成17年度の平均交付率は15.5%となっている（表4）。

(イ) 指定野菜別に交付額の多いものは、レタスが62億5千万円で最も多く（交付率41.7%）、次いでキャベツ23億8千万円（同19.4%）、きゅうり22億6千万円（同17.7%）、はくさい20億3千万円（同44.6%）、トマト17億9千万円（同13.3%）等となっている（図7・表5）。

また、資金造成額に対する交付率では、はくさいが44.6%で最も高く、次いでレタス41.7%、なす22.9%、にんじん21.0%等が平均交付率を上回る交付率となっている（表5）。

イ 種別（対象出荷期間）別の交付額

種別（対象出荷期間）別の交付額は、夏秋キャベツ（7～10月）の17億9千万円が最も多く、次いで夏秋レタス（8～10月）の17億円、夏はくさい（7～10/15月）の15億2千万円、夏秋レタス（6～7月）の12億2千万円、冬レタス（12～2月）の11億4千万円等となっている。

また、資金造成額に対する交付率では、夏はくさい（7～10/15月）の87.4%が最も高く、次いで夏秋レタス（6～7月）の72.7%、夏秋なす（10～11月）の68.1%、夏秋レタス（8～10月）の64.3%、冬レタス（3月）の61.2%等となっている（表6）。

ウ 登録出荷団体等別の交付額

登録出荷団体等別に交付額をみると、交付額の多い団体等は、①夏秋レタス、夏はくさいを主体とした全農長野県本部が50億1千万円で最も多く、次いで②夏秋キャベツ、夏秋レタスを主体とした全農群馬県本部が15億7千万円、③冬レタス、夏秋レタスを主体とした全農茨城県本部が14億4千万円、④冬レタス、春レタス

を主体とした全農兵庫県本部が9億1千万円、⑤冬春トマト、冬春なすを主体とした熊本県経済連が8億8千万円の順となっており、この5団体で全体の交付額の48%を占めている（表7）。

表3 平均販売価額算定旬数

年 度	対象野菜区分	対象出荷期間の延べ旬(月)数	内 訳			
			平均販売価額が保証基準額以上であった旬月数	平均販売価額が保証基準額を下回った旬月数	(参 考) 左のうち平均販売価額が最低基準額をも下回った旬月数	出荷実績が無く、平均販売価額の算定も無かった旬月数
平成 17年度	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ以外の指定野菜	4,646 (100.0%)	2,284 (49.2%)	1,663 (35.8%)	163 (3.6%)	699 (15.0%)
	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ	139 (100.0%)	77 (55.4%)	25 (18.0%)	0 (0.0%)	37 (26.6%)
	計	4,785 (100.0%)	2,361 (49.3%)	1,688 (35.3%)	163 (3.5%)	736 (15.4%)
平成 16年度	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ以外の指定野菜	4,555 (100.0%)	2,659 (58.4%)	1,177 (25.8%)	69 (1.5%)	719 (15.8%)
	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ	138 (100.0%)	66 (47.8%)	37 (26.8%)	3 (2.2%)	35 (25.4%)
	計	4,693 (100.0%)	2,725 (58.1%)	1,214 (25.9%)	72 (1.5%)	754 (16.1%)

注：さといも、たまねぎ及びびばれいしょは、月数。その他の品目は旬数。

表4 価格差補給交付金等交付額及び交付率の推移

(単位：千円、%)

年度	区分	価格差補給交付金等交付額	交付率
昭和	51年度	2,231,282	8.7
	52年度	10,746,613	31.4
	53年度	20,479,139	40.4
	54年度	14,128,250	23.4
	55年度	7,255,577	11.0
	56年度	12,913,990	17.5
	57年度	16,081,755	20.5
	58年度	4,391,659	5.4
	59年度	17,293,106	20.2
	60年度	19,386,921	21.6
	61年度	25,897,995	29.3
	62年度	12,669,217	14.3
	63年度	7,995,175	9.5
平成	元年度	5,776,084	6.9
	2年度	2,561,168	3.0
	3年度	3,698,177	4.3
	4年度	14,900,451	17.4
	5年度	5,309,363	6.1
	6年度	5,259,868	6.1
	7年度	6,435,671	7.3
	8年度	14,454,904	15.5
	9年度	11,314,439	12.1
	10年度	10,369,189	10.8
	11年度	14,846,795	15.1
	12年度	16,639,939	16.9
	13年度	26,594,382	27.0
	14年度	14,792,407	14.8
	15年度	19,294,788	18.5
	16年度	13,202,399	12.5
	17年度	20,329,611	18.9
昭和51～平成17年度平均交付率			15.5

図7 価格差補給交付金等の指定野菜別割合

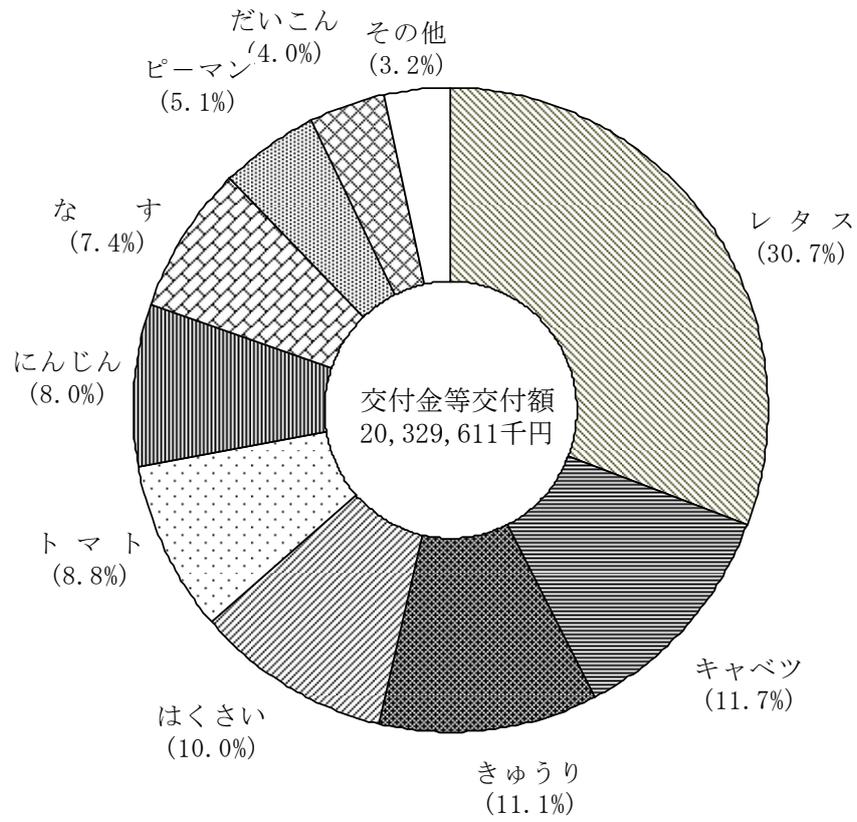


表5 指定野菜別の価格差補給交付金等交付額

(単位：千円、%)

指 定 野 菜	価格差補給交付金等交付額			造成額に対する交付率
	一 般	特 別	計	
キ ャ ベ ツ	2,233,528	143,558	2,377,086	19.4
き ゆ う り	2,262,204	—	2,262,204	17.7
さ と い も	40,381	—	40,381	7.3
だ い こ ん	801,898	10,679	812,577	12.6
た ま ね ぎ	42,278	4,697	46,975	0.4
ト マ ト	1,785,479	—	1,785,479	13.3
な す	1,503,809	—	1,503,809	22.9
に ん じ ん	1,624,617	—	1,624,617	21.0
ね ぎ	322,435	—	322,435	6.9
は く さ い	2,022,814	3,077	2,025,891	44.6
ば れ い し ょ	121	—	121	0.0
ピ ー マ ン	1,037,049	—	1,037,049	19.4
ほうれんそう	240,619	—	240,619	8.3
レ タ ス	6,250,368	—	6,250,368	41.7
合 計	20,167,600	162,011	20,329,611	18.9

表6 種別（対象出荷期間）別の価格差補給交付金等交付額

対象野菜	種別	対象出荷期間	交付金等交付額 (千円)	交付率 (%)	対象野菜	種別	対象出荷期間	交付金等交付額 (千円)	交付率 (%)
キャベツ	春	4.1~5.15	0	0.0	ねぎ	春	4.1~6.30	25,669	4.2
		5.16~6.30	227,735	25.0			夏	7.1~9.30	95,363
		小計	227,735	8.0		(白)		7.1~9.30	31,218
	夏秋	7.1~10.31	1,794,456	44.6			(青)	7.1~9.30	28,746
		小計	155,327	14.8		(調製)		10.1~12.31	63,570
冬	11.1~12.31	57,041	3.7	(白)	10.1~12.31		663	0.1	
	1.1~3.31	297,854	7.7		(青)	10.1~12.31	7,190	1.8	
小計	354,895	6.6	(調製)	10.1~12.31		1,622	1.3		
計		2,377,086		19.4	(白)	小計	73,045	0.3	
きゅうり	夏秋	7.1~9.30	950,035	24.8		(青)	1.1~3.31	25,832	8.7
		10.1~11.30	55,086	4.8	(調製)		1.1~3.31	0	0.0
	小計	1,005,121	20.2	(白)		1.1~3.31	190	0.1	
	冬春	11.21~2.28	317,293		7.7	(青)	1.1~3.31	42,372	33.3
		3.1~4.30	40,753	2.0	小計		68,394	5.7	
5.1~6.30	899,037	56.1	計		322,435	6.9			
小計	1,257,083	16.1	はくさい	春	4.1~6.30	358,310	58.5		
計	2,262,204	17.7			夏	7.1~10.15	1,515,920	87.4	
さといも	秋冬	8.1~9.30		5,631		7.9	秋冬	10.1~10.31	19,137
		10.1~12.31		31,384	9.3	11.1~12.31		2,788	0.4
	1.1~3.31	3,314		2.5	1.1~3.31	129,736	9.3		
	6.1~7.31	52	0.7	小計	151,661	6.9			
計	40,381	7.3	だいこん	春	4.1~6.30	248,613	24.3		
夏	7.1~9.30	358,679			26.3	秋冬	10.1~12.31	204,894	15.0
	10.1~12.31	204,894		15.0	1.1~3.31		391	0.0	
小計	205,285	5.1		計	812,577	12.6			
計	812,577	12.6	たまねぎ	即売	8.1~4.30	46,975	0.8		
夏秋	4.1~4.30	0			0.0	貯蔵	7.1~10.31	0	0.0
	5.1~6.30	0		0.0	11.1~3.31		0	0.0	
小計	46,975	0.5		計	46,975	0.4			
計	46,975	0.4		トマ(ミニ)	夏秋	7.1~9.30	441,137	10.3	
冬春	7.1~9.30	62,445	13.7			(ミニ)	10.1~11.30	65,212	4.1
	10.1~11.30	13,226	7.8				(ミニ)	12.1~2.28	240,432
小計	503,582	10.7	(ミニ)		12.1~2.28	120,564		16.1	
(ミニ)	12.1~2.28	120,564			16.1	(ミニ)	3.1~4.30	0	0.0
	小計	360,996	16.1	(ミニ)	3.1~4.30		27,666	3.8	
(ミニ)	5.1~6.30	614,519	29.1		(ミニ)	5.1~6.30	200,278	39.1	
	5.1~6.30	200,278	39.1	小計		814,797	31.0		
計	1,785,479	13.3	なす	夏秋	7.1~9.30	388,363	24.0		
冬春	10.1~11.30	262,463			68.1	(非結球)	10.16~10.31	7,081	3.5
	12.1~2.28	105,847		8.2	(非結球)		10.16~10.31	0	0.0
3.1~4.30	18,589	1.1		(非結球)		小計	7,081	3.1	
5.1~6.30	728,547	44.4			(非結球)	11.1~11.30	261,451	28.4	
小計	852,983	18.6	(非結球)	11.1~11.30		34,161	24.8		
計	1,503,809	22.9		(非結球)	小計	295,612	27.9		
にんじん	春夏	4.1~5.31	448,292		21.3	(非結球)	12.1~2.28	1,068,502	22.4
		6.1~7.31	357,735	34.3	(非結球)		12.1~2.28	74,399	12.9
	小計	806,027	25.6	(非結球)		小計	1,142,901	21.3	
	秋	8.1~10.31	689,862		38.9	(非結球)	3.1~3.31	897,434	58.2
		11.1~12.31	84,179	8.1	(非結球)		3.1~3.31	165,553	85.5
(金時)	11.1~12.31	10,872	14.4	(非結球)		小計	1,062,987	61.2	
	11.1~12.31	28,449	12.8		計	6,250,368	41.7		
小計	123,500	9.2	総計	20,329,611	18.9				
(金時)	1.1~3.31	2,140	0.2						
	1.1~3.31	3,088	24.3						
1.1~3.31	0	0.0							
小計	5,228	0.3							
計	1,624,617	21.0							

表7 登録出荷団体等別の価格差補給交付金等交付額

(単位：千円、%)

登録出荷団体等	交付金等交付額	交付率	登録出荷団体等	交付金等交付額	交付率
ホクレン	800,156	8.8	全農滋賀県本部	5,896	7.2
北海道青果商協	257,152	24.5	全農京都府本部	31,209	24.4
(北海道計)	1,057,308	10.4	全農大阪府本部	104,337	13.7
全農青森県本部	247,085	13.2	泉州玉葱商協	0	0.0
全農岩手県本部	699,441	26.3	(大阪府計)	104,337	13.5
全農宮城県本部	45,230	21.9	全農兵庫県本部	911,224	15.5
全農秋田県本部	84,866	13.5	淡路玉葱商協	0	0.0
全農山形県本部	44,030	17.0	(兵庫県計)	911,224	15.1
全農庄内本部	1,021	2.3	奈良県農協	127,711	29.3
(山形県計)	45,051	14.8	和歌山県農協連	84,463	10.9
全農福島県本部	551,297	21.1	和歌山県玉葱商協	0	0.0
全農茨城県本部	1,438,625	29.7	(和歌山県計)	84,463	10.4
全農栃木県本部	311,833	24.3	全農鳥取県本部	89,592	7.0
栃木県開拓農協	1,218	1.1	全農島根県本部	7,118	7.6
(栃木県計)	313,051	22.6	全農岡山県本部	107,364	9.0
全農群馬県本部	1,567,323	34.2	全農広島県本部	34,813	12.1
全農埼玉県本部	251,571	21.1	全農山口県本部	34,960	9.1
全農千葉県本部	813,933	9.8	全農徳島県本部	834,122	19.3
全農神奈川県本部	135,467	4.4	香川県農協	745,201	20.2
全農新潟県本部	57,532	13.9	愛媛県農協連	257,486	17.5
全農富山県本部	11,521	5.8	高知県園芸連	553,398	13.4
全農石川県本部	42,416	15.5	全農福岡県本部	449,772	18.0
福井県経済連	5,392	2.6	佐賀県経済連	120,600	5.2
全農山梨県本部	145,410	28.6	全農長崎県本部	403,230	12.2
全農長野県本部	5,007,636	68.4	熊本県経済連	879,818	14.0
全農岐阜県本部	293,036	12.3	全農大分県本部	71,286	12.5
静岡県経済連	315,767	18.8	宮崎県経済連	724,071	12.4
遠州中央農協	1,365	0.6	鹿児島県経済連	97,929	7.6
(静岡県計)	317,132	16.6	沖縄県農協	44,307	26.8
愛知県経済連	422,404	8.6	登録生産者計	17,940	16.7
全農三重県本部	39,037	13.5	総計	20,329,611	18.9

(3) 計画出荷の認定に係る価格差補給交付金等の交付状況等

ア 特別補給交付金等の交付

重要野菜（キャベツ、たまねぎ、秋冬だいこん及び秋冬はくさい）については、業務区分及び登録出荷団体ごとに農林水産省生産局長の承認を受けた供給計画数量とそれに見合う出荷実績数量との差がおおむね5%の範囲内であるとして、地方農政局長等の認定が行われた場合には、一般補給交付金等の9分の1の額を特別補給交付金等として交付することとしている。

17年度事業において、この供給計画出荷に係る認定の対象（価格差補給交付金等の交付の対象となったもの）となった登録出荷団体等は延べ108団体等（前年度は86団体等）で、対前年度の約1.3倍であった。更に、このうち特別補給交付金等が交付された団体等は延べ30団体等（前年度は23団体等）で、交付された特別補給交付金等の総額は162,011千円（前年度は49,292千円）であった（表8）。

イ 一般補給交付金等の一部交付

重要野菜及び一般認定野菜については、計画出荷の認定にあわせて、地方農政局長等が出荷実績数量と供給計画数量との差の程度に応じた認定が行われ、その乖離の程度（5段階）に応じて一般補給交付金等の一部を減額して交付することとしている（業務方法書第115条）。

17年度事業においてこの一部交付の認定の対象となった登録出荷団体等は延べ705団体等であった。このうち延べ339団体等（構成比48%）が一部減額交付となり、減額された金額は208,102千円で交付予定額に対して1.58%の減額となった（表9）。

表 8 特別補給交付金等の交付状況

対象野菜	対象出荷期間	登録出荷団体等			特別補給 交付金等 (千円)
		計画出荷のAラン ク認定された延べ 団体数 (A)	左のうち特別補給 交付金等が交付さ れたもの (B)	B/A (%)	
春キャベツ	4～5/15月	0	0	0	0
	5/16～6月	14	6	43	18,977
夏秋キャベツ	7～10月	23	8	35	109,496
冬キャベツ	11～12月	13	5	38	2,623
	1～3月	19	3	16	12,462
秋冬だいこん	10～12月	18	4	22	10,679
	1～3月	1	0	0	0
たまねぎ	4月	0	0	0	0
	5～6月	0	0	0	0
	7～10月	0	0	0	0
	11～3月	0	0	0	0
	8～4月	1	1	100	4,697
秋冬はくさい	10月	2	0	0	0
	11～12月	4	1	25	2
	1～3月	13	2	15	3,075
計	a	108	30	28	162,011
前年度	b	86	23	27	49,292
対前年度	a/b	1.3	1.3	—	3.3

表9 一般補給交付金等の一部交付の状況

(単位：団体、千円、%)

認定区分	登録出荷団体等		当該登録出荷団体等の一般補給交付金等					b' / a
	延べ 団体等数	構成比	交付予定額 a	不交付額 b			交付額	
				計画出荷の 認定に係る もの b'	辞退に係る もの b''	計 b		
A	366 (108)	52 (56)	11,751,896 (2,457,096)	— (—)	13,720 (121)	13,720 (121)	11,738,176 (2,456,975)	— (—)
B	163 (43)	23 (22)	989,032 (130,314)	98,978 (13,051)	4,001 (159)	102,979 (13,210)	886,053 (117,104)	10.01 (10.02)
C	91 (21)	13 (11)	329,335 (45,582)	65,905 (9,126)	219 (56)	66,124 (9,182)	263,211 (36,400)	20.01 (20.02)
D	45 (13)	6 (7)	107,395 (10,842)	32,241 (3,258)	77 (18)	32,318 (3,276)	75,077 (7,566)	30.02 (30.05)
E	26 (6)	4 (3)	10,359 (1,057)	4,155 (425)	13 (1)	4,168 (426)	6,191 (631)	40.11 (40.20)
F	14 (3)	2 (2)	13,636 (677)	6,823 (339)	18 (18)	6,841 (357)	6,795 (320)	50.04 (50.07)
計(A)	705 (194)	100 (100)	13,201,653 (2,645,568)	208,102 (26,199)	18,048 (373)	226,150 (26,572)	12,975,503 (2,618,996)	1.58 (1.23)
前年度(B)	— (140)	— (100)	— (1,128,387)	— (23,600)	— (1,209)	— (24,809)	— (1,103,578)	— (2.09)
対前年度比 (A)/(B)	— (1.4)	— (—)	— (2.3)	— (1.1)	— (0.6)	— (1.6)	— (2.9)	— (—)

注) () は、重要野菜。
 平成17年度より重要野菜に加え、一般認定野菜が一部交付の対象となった。
 一般認定野菜：春だいこん、夏だいこん、春夏にんじん、秋にんじん、冬にんじん、
 春はくさい、夏はくさい、春レタス、夏秋レタス及び冬レタス

表10 野菜生産出荷安定資金の収支

参考

(単位：円)

区分	資金区分			計	指定特別資金	指定特別業務資金	計
	指定業務資金	指定助成業務資金	指定共通業務資金				
平成16年度事業末資金残高	17,589,181,500	17,587,928,500	57,486,614,000	92,663,724,000	0	18,923,196,915	18,923,196,915
各資金から指定特別業務資金へ 積み立てる額	△194,552,500	△429,478,500	—	△624,031,000	—	624,031,000	624,031,000
負担金等払戻金	△234,401,000	—	—	△234,401,000	—	—	—
平成17年度事業資金造成額	3,400,765,000	3,399,522,000	9,087,548,000	15,887,835,000	—	—	—
内 負担金	3,127,123,500	—	—	3,127,123,500	—	—	—
補助金及び納付金	—	2,931,492,000	143,320,000	3,074,812,000	7,426,060,000	—	7,426,060,000
指定特別業務資金から他の資金 へ繰入れる額	273,641,500	468,030,000	988,679,000	1,730,350,500	—	△1,730,350,500	△1,730,350,500
訳 指定特別資金から他の資金へ 繰入れる額	—	0	7,426,060,000	7,426,060,000	△7,426,060,000	—	△7,426,060,000
国庫債務負担行為額	—	—	529,489,000	529,489,000	—	—	—
平成17年度事業資金造成総額	20,560,993,000	20,557,972,000	66,574,162,000	※1 107,693,127,000	—	—	—
平成17年度事業に係る交付金	△3,963,353,500	△3,961,403,500	△12,404,854,000	△20,329,611,000	—	—	—
利益相当額から受入	—	—	—	0	—	615,197,166	615,197,166
指定特別業務資金の払戻金	—	—	—	—	—	△11,858,250	△11,858,250
過年度返還金の受入	—	—	—	—	—	0	0
指定特別業務資金から契約指定特別業務資金へ繰入れる額	—	—	—	—	—	0	0
契約指定特別業務資金から指定特別業務資金へ繰入れる額	—	—	—	0	—	0	0
平成17年度事業末資金残高	16,597,639,500	16,596,568,500	54,169,308,000	87,363,516,000	0	18,420,216,331	18,420,216,331

※1資金造成総額計107,693,127,000円には下欄の債務負担行為額34,421,825,000円を含む。

国庫債務負担行為額
債務負担額
33,287,081,000

道府県債務負担行為額	
導入した道府県	債務負担額
北海道	467,788,000
青森県	93,487,000
福島県	123,469,000
長野県	350,000,000
熊本県	100,000,000
計	1,134,744,000

4 野菜生産出荷安定資金の収支

指定野菜価格安定対策事業に係る資金のうち、登録出荷団体等からの負担金を管理している指定業務資金、道府県野菜価格安定法人からの納付金（原資は道府県補助金）を管理している指定助成業務資金及び国からの補助金を管理している指定共通業務資金の収支の状況を年度事業単位で見ると（表10）、前年度事業末資金残高926億6千万円から17年度事業の予約数量減に伴う指定特別業務資金への積立6億2千万円、負担金の返戻2億3千万円をそれぞれ取り崩し、新たに17年度事業を開始するに当たり必要とされる資金として指定特別業務資金からの繰入額17億3千万円、指定特別資金からの繰入額74億3千万円、登録出荷団体等からの負担金31億3千万円、国からの補助金及び道府県野菜価格安定法人からの納付金30億7千万円をそれぞれ造成し、国庫債務負担行為5億3千万円を増額して、資金造成総額は1,076億9千万円（国庫・道府県債務負担行為344億2千万円含む。）となったが、本年度事業の価格差補給交付金等の交付額は203億3千万円となり、差引き17年度事業終了時点の資金残高は873億6千万円となった。